

ひまふ 火守りトピックス

No.161 令和元年9月19日(木)掲載



令和元年度全国統一防火標語

『ひとつずつ いいね! で確認 火の用心』



令和元年度救急講演会



9月8日から9月14日まで救急医療週間となっており、14日は遠野市総合防災センター大会議室を会場に、岩手県立遠野病院の菅原^{すがわら} 卓^{たかし} 副院長兼整形外科長から

「危険がいっぱい? 農村の暮らし」と題し、講演をしていただきました。

会場には、多数の方が集まり、笑いが絶えない講演会となりました。

講演会の内容は、菅原医師が遠野市に移住し、実際に体験した危険なこと（河川清掃での草刈りなど）で、普段と違った環境になると事故が起こりやすかったり、「このくらい大丈夫」と、状況判断を見誤ったりした結果、大きな怪我につながるなど、このような事故や怪我を防ぐには、危険予知をすることが大切だと、貴重なお話をいただきました。



心肺蘇生法体験

9月15日 遠野ショッピングセンターとぴあを会場に、心肺蘇生法体験と119番通報体験が行われました。

心肺蘇生法体験では、主に小さい子供を持つ家庭や学生が乳児用の訓練人形で、成人用の訓練人形では、老若男女問わずたくさんの方が体験しました。

また、119番通報体験では、実際に通信指令員との会話を通じて、何を伝えなければならないのかを体験しました。

